

水稲新品種「ひみこもち」について

八木忠之・西山 壽¹⁾・渡邊進二²⁾・山下 浩・滝田 正³⁾・本村弘美²⁾・平林秀介・井邊時雄⁴⁾・斎藤 薫⁵⁾
 (九州農業試験場・¹⁾福岡県農業総合試験場・²⁾元九州農業試験場・³⁾宮崎県総合農業試験場・
⁴⁾IRRI・⁵⁾東北農政局)

Tadashi YAGI, Hisashi NISHIYAMA, Shinji WATANABE, Hiroshi YAMASHITA, Tadashi TAHITA, Hiroshi, MOTOMURA, Hideyuki HIRABAYASHI, Tokio INBE and Kaoru SAITOU : A New Rice Cultivar "Himikomochi"

水稲新品種「ひみこもち」は1994年から大分県において奨励品種に採用され普及に移された。ここに本品種の育成経過並びに特性概要を報告し、普及の参考に供したい。本品種の育成に関し、種々高配をあくした関係各機関各位に深く謝意を表する。

1. 来歴及び育成経過

本品種は、中晩生安定多収・良質・良食味糯品種の育成を目標に、1983年に中生の晩・多収糯品種の「サイワイモチ」を母に、良質・良食味「滋賀羽二重糯」を父として人工交配した組合せに由来する。1984年1月にF₁をポットで養成し、F₂、F₃を苗代密播栽培、F₄で個体選抜、以後系統育種法により選抜固定を重ねてきた。1991年にF₅より「西海糯197号」の地方系統名で関係各機関に配布して地域適応性を検討し、1994年8月には「水稲農林糯329号」として登録、「ひみこもち」と命名された。

2. 特性の概要

1) 形態的特徴

稈長は、「ヒヨクモチ」より高く、「サイワイモチ」並の「やや短稈」で、穂長は、「サイワイモチ」よりやや長く、「ヒヨクモチ」並みの「中」、穂数は「サイワイモチ」「ヒヨクモチ」よりやや少ない「偏穂数型」の草型である。止葉は「立ち」、草姿は「やや良」である。芒は「無く」、穎色・ふ先色は「赤褐」である。粒着密度は「中」、脱粒性は「やや易」である。

2) 生態的特徴

出穂期・成熟期は「サイワイモチ」より3日程度遅く、「ヒヨクモチ」よりやや早い暖地では「晩生の早」に属する糯種である。耐倒伏性は「ヒヨクモチ」よりやや弱く、「サイワイモチ」よりやや強い「やや強」である。収量性は「サイワイモチ」よりやや多収で、「ヒヨクモチ」に近い「多収」である。

いもち病抵抗性遺伝子型は「Pi-ta²」を持つと推定される。葉いもち、穂いもちとも真性抵抗性遺伝子のため判定は困難であるが、種々の検定の結果、「中」程度と判定される。白葉枯病抵抗性品種群は「黄玉群」に属し、圃場抵抗性は「サイワイモチ」よりやや弱く「ヒヨクモチ」並の「中」である。縞葉枯病には罹病性である。

3) 品質・食味特性

粒形・粒大は「サイワイモチ」「ヒヨクモチ」並みの「中」である。外観品質は「サイワイモチ」「ヒヨクモチ」より白度が高く、「良質」である。餅特性は「サイワイモチ」「ヒヨクモチ」より白度が高く、引きが強い「良食味」である。餅の冷蔵硬化速度は「ヒヨクモチ」

より明らかに早く、「サイワイモチ」並みかやや早い

3. 奨励品種採用理由

大分県の平坦地向き糯品種として「サイワイモチ」が1983年から奨励品種として採用されているが、収量性及び糯質が問題であり、非奨励品種ではあるが多収の「ヒヨクモチ」が69%にまで作付けされている。しかし「ヒヨクモチ」は晩熟で年によっては登熟や品質が低下しやすいとともに、いもち病に弱であるなどの欠点がある。さらに餅質の良質化が求められていた。

「ひみこもち」は出穂・成熟期が「サイワイモチ」より遅いが、「ヒヨクモチ」より早く、倒伏にも強い上に「ヒヨクモチ」並みの多収であり、いもち病の圃場抵抗性も「中」程度である。また、両品種より玄米白度が高く良質で、餅質も両品種より明らかに良食味である。

以上のことから、大分県では本品種を平坦向き晩生良質糯品種として「サイワイモチ」「ヒヨクモチ」に替えて600haほどの普及を見込んでいる。

4. 栽培上の注意

- 1) 晩生なので、適地を選定するとともに晩植は避ける。
- 2) 葉色がやや淡く経過するが、過度の施肥は過繁茂になるので肥培管理に留意する。
- 3) 穂発芽がやや易であるので、適期刈りを励行する。
- 4) いもち病真性抵抗性Pi-ta²を持っているため通常では発病しないが、侵害菌の発生動向には注意する。
- 5) 縞葉枯病には罹病性であるので、防除に留意する。

第1表 ひみこもちの特性 (育成地)

形 質	ひみこもち	サイワイモチ	ヒヨクモチ
早 晩 生	晩生の早	中生の晩	晩生の早
草 型	偏穂数型	穂数型	穂数型
出 穂 期 (月日)	9. 5	9. 1	9. 5
成 熟 期 (月日)	10.25	10.20	10.27
稈 長 (cm)	77	79	68
穂 長 (cm)	18.8	17.8	19.1
穂 数 (本/m ²)	400	423	398
芒の多少・長短	無	稀・短	稀・短
ふ 先 色	赤褐	赤褐	赤褐
ふ 色	赤褐	赤褐	黄白
脱 粒 性	やや易	やや易	やや易
耐 着 密 度	中	やや密	中
耐 倒 伏 性	やや強	やや強	強
葉 穂 病	中 (Pi-ta ²)	中 (Pi-a, ta ²)	やや弱
白 縞 葉 枯 病	中 (Pi-ta ²)	中 (Pi-a, ta ²)	やや弱
縞 葉 枯 病	罹病性	罹病性	罹病性
玄 米 重 (kg/a)	55.9	54.4	56.5
同 上 標 準 比 率 (%)	103	100	104
玄 米 千 粒 重 (g)	21.7	20.9	21.9
玄 米 品 質	4.6	5.2	4.7
餅 白 度	上下	中上	中中
餅 食 味	上下	中中	中上

注) 1988~92年の標肥試験成績(1991年は台風被害甚大のため除く)